

イベント開催前にお願いしたいこと (別紙2)

基本的な考え方	リアル研修は、原則として以下の場合に参加可能とします。 ・ 37.5℃以上の発熱や風邪のような症状など体調不良の状況ではない ・ PCR検査あるいは抗原検査で陰性となっている ・ 濃厚接触者として待期対象となっていない 今回の研修では、全国各地から受講生が集まり、泊りがけで学びます。 2日間の研修期間、お互いに安心して学ぶことができ、研修後も普段通りの日常が送れるよう、受講生のみなさん、講師・スタッフで協力していきましょう。 そのために、新型コロナウイルスへの感染拡大を防止する下記の措置にご協力ください。
----------------	--

項目	チェック	必要な対策内容
本日～		研修開始までの期間、自身の健康管理に留意し、多人数での飲食、人込みへの出入りを避けるなど感染リスクを避ける行動をする。
7月25日（月）		7月25日（月）以降に濃厚接触者となった場合は、事務局に連絡する。 ※国のルールにしたがって待機期間が解除された場合のみ、リアル参加可能です。 ※待機期間でも同時配信への参加は可能です。
7月27日（水）		7月27日（水）から毎日検温し、体温を事務局に報告する。 研修前日7月29日（金）に37.5℃以上の発熱があった場合は同時配信受講とする。
7月28日（木）～		研修前にPCR検査か抗原検査を受け、陰性の結果が出た上で参加する。 ★PCR検査→28日（木）、29日（金）に受ける ★抗原検査→29日（金）、30日（土）に受ける ※都道府県で無料のPCR検査を実施しています。無料で受けられない、スケジュール的に受けられない方は事務局にご連絡ください。
7月30日（土）		30日（土）朝に、健康状態をgoogleフォームで報告する。 →用紙での報告に変更
		30日（土）受付時に検温、PCR検査あるいは抗原検査の結果確認を行います。 検査結果の画面等を表示してください。
研修期間中		研修期間中は、下記のタイミングで検温を行います。 30日（土）…受付時、夕食前 31日（日）…研修開始時、解散時
8月1日（月）～3日（水）		研修終了後3日間で発熱、体調不良などになった場合は、事務局にご連絡ください。

イベント開催時のチェックリスト（1/4）

【東京都様式 令和4年7月15日更新】

5,000人超かつ収容率50%超（緊急事態措置期間・まん延防止等重点措置期間は5,000人超）のイベント開催時には、「感染防止安全計画」の提出が必要です。

開催概要			
イベント名	ミライの農業をつくる学生向け研修（夏・東京）		
開催案内URL （ある場合のみ）	https://agri-innovation.jp/future-agri/student/		
出演者・ チーム等	別途一覧を公表します（別紙1）。 多数のため収まらない場合 → 別途、一覧を公表してください。		
開催日時	令和 4 年 7 月 30 日 11 時 0 分 ～ 翌日16 時 0 分 複数回開催の場合 → 別途、開催する日時の一覧を公表してください。		
開催会場	L stay & grow 晴海		
会場所在地	東京都中央区晴海 3-8-1		
主催者	株式会社マイファーム		
主催者 所在地	〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町607番地辰巳ビル1階		
主催者 連絡先	(電 話 番 号) 075-746-6213 (メールアドレス) mf_seminar@myfarm.co.jp		
収容定員 （いずれか選択）	● 収容定員あり 90人	○ -	
収容率（上限） （いずれか1つ選択）	● (大声なし※1※2) 収容定員の100%以内	○ -	
	○ (大声あり※1) 収容定員の50%以内	○ -	
参加人数	41人（受講生34人、講師7人、スタッフ等9人）		
大声なしと判断した 理由や具体的な対策 ※2	(大声なしの場合のみ記載) イベント内容が座学研修であり「通常よりも大きな音量で、反復・継続的に声を発すること」機会は発生しない。全体講義や全体アナウンスの際には、適切にマイクを使用し、大声を伴わないことを担保する。		

- ※1 大声の定義：「観客等が、通常よりも大きな音量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理します。
- ※2 大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を「大声なしと判断した理由や具体的な対策」欄に記載してください。

イベント開催時のチェックリスト (2/4)

【東京都様式 令和4年7月15日更新】

基本的な 感染防止	イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。プルダウンですべての項目にチェックを付けてください。 ※イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合は、P.4の「特記事項」欄にその理由を記入してください。
-----------------------------	---

項目	チェック	必要な対策内容
① 飛沫の抑制 (マスク着用や 大声を出さない こと) の徹底	✓	【大声なしの場合】 飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(品質の確かな、できれば不織布)の正しい着用や大声(※)を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。 (※) 大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。 →研修参加者には不織布マスクの正しい着用をお願いします。オリエンテーションでの説明や掲示物でマスク着用や大声を出さないなどのルールを周知・徹底します。 【大声ありの場合】 「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。
② 手洗、 手指・施設消毒 の徹底	✓	こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。 →会場出入口等にアルコール等の手指消毒液を設置します。グループワーク時、会場入退室時、食事前後には手洗や手指消毒の徹底をアナウンスします。
③ 換気の徹底	✓	機械換気による常時換気又は窓開け換気。 →窓開け可能な会場にて研修を実施します。会場は休憩ごとに窓開け換気します。
④ 来場者間の 密集回避	✓	入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。 →受付窓口の複数設置、余裕を持った開場時間、退場時間の設定を行います。 ✓ 休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。 →出入口や休憩スペースが密にならないよう、スタッフによる誘導・監督を行います。 ✓ 大声を伴わない場合には、人と人とが触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保 →講義受講時には余裕を持った座席指定とパーティションの設置を行います。テーマ別講義や交流会の際には、人と人が触れ合わない間隔を保つようアナウンスを行います。

イベント開催時のチェックリスト (3/4)

【東京都様式 令和4年7月15日更新】

基本的な 感染防止	イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たす必要があります。プルダウンですべての項目にチェックを付けてください。 ※イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合は、P.4の「特記事項」欄にその理由を記入してください。
--------------	--

項目	チェック	必要な対策内容
⑤ 飲食の制限	✓	飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。 →研修中の食事は、決められた食事時間において、パーティションが設置された食堂あるいは研修室、宿泊用の個室での黙食をルールとします。
	✓	飲食中以外のマスク着用の推奨。 →飲食中以外の時間はマスク着用を推奨します。特にグループワーク時、交流会時はマスク着用をルールとします。（ルールの適用は、参加者の健康に配慮して実施します）
	✓	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。 →研修中の食事は、決められた食事時間において、パーティションが設置された食堂あるいは研修室、宿泊用の個室での黙食をルールとします。
	✓	自治体等の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。 →食事時間、交流会時のアルコール飲料持ち込みは不可とします。
⑥ 出演者等の 感染対策	✓	有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。 →37.5度以上の発熱又は風邪等の症状を呈する講師、スタッフ、受講生は、参加希望がある場合もオンライン同時配信への参加に切り替えます。
	✓	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。 →事前準備時から不織布マスクの着用、手指の消毒等の感染防止策を徹底します。
		出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。 →講師、スタッフへの質問や相談が本イベントの要点の1つであるため、別途対応を行います（特記事項参照）。
⑦ 参加者の 把握・管理等	✓	チケット購入時又は入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握。 →申込時に全受講生から氏名、連絡先の提供を受けています。
	✓	入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。 →本研修は研修費・宿泊費無料です。検温、有症状で参加できない場合は、振込み済みの食費を返金します。
	✓	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。 →余裕を持った開場時間、退場時間設定を行い、直行・直帰の呼びかけを行い、来場時、帰宅時には「新しい旅のエチケット（観光庁）」を実施するようアナウンスします。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。

イベント開催時のチェックリスト (4/4)

【東京都様式 令和4年7月15日更新】

特記事項	・ イベントの性質上、やむを得ずチェックを付けられない項目がある場合（※）は、その理由を記入してください。 ・ その他、特記事項があれば記入してください。 ※例1：屋外で開催するイベントのため、「③換気の徹底」は未チェック。 例2：イベント中の飲食を禁止しているため、「⑤飲食の制限」は未チェック。
------	---

【記入欄】 講師やスタッフへの質問、相談等がイベントの重要な要素であるため、「⑥出演者等の感染対策」のうち「出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。」は未チェック。 代替措置として、講師・スタッフは事前にPCR検査あるいは抗原検査を実施して陰性を確認した場合のみ現地参加する。
--

イベント開催時のチェックリスト (別紙1)

イベント参加講師・運営スタッフ（出演者・チーム等の代わりに記載）

講師（登壇順）	配島一匡	合同会社Amahoro
	佐川友彦	ファームサイド株式会社
	鈴木啓之	鈴盛農園
	馬上温香	株式会社牛かうVaca
	永田玲士	株式会社日本農業
	田中綾華	ROSE LABO株式会社
	川染愛	ROSE LABO株式会社
現地運営スタッフ等	青才樹	株式会社マイファーム
（かな順）	小野史	株式会社マイファーム
	加藤美栄	株式会社マイファーム
	金澤碩昌	株式会社マイファーム
	近藤和	株式会社マイファーム
	坂本直樹	株式会社マイファーム
	澤崎竜也	株式会社マイファーム
	丸彩佳	株式会社マイファーム
	福本由紀子	株式会社NOPPO
	水野圭輔	フリーランス
	山下雄登	あえてキカク